

防災宿泊体験～その1～

4月21日(金)から22日(土)の朝にかけて防災宿泊体験を実施しました。19日(水)には事前学習を行い、防災について考えました。そして、当日は本郷消防署や青少年赤十字の方によるお話を聞いたり、AEDや応急手当の方法、消火訓練などの体験学習を行いました。生徒たちはとても真剣に話を聞いていました。防災について理解を深められたのではないかと思います。もし、本当に災害があったときに、今回の学習で人の命を救うことができるかもしれません。今後活かしていけると良いです。

本郷消防署の方による救急救命講習

胸骨圧迫とAED



とても真剣に取り組んでいました。AEDは中央玄関
主事室前にあります。確認しておきましょう！



担架づくり



竹の棒2本と
毛布があれば、簡単に
できてしまうの
ですね！



止血法



頭、腕、膝などの止血法を学びました。もし、けがをした人がいたら助けられますね！

消防署による救命救急、消火訓練について

- ・救急救命は、1つ手順を間違えたら、人の命がなくなりそうだなと思った。(胸骨圧迫で)5cmも胸を押すと、ろっ骨が折れるんじゃないかと思った。消火訓練は実際にやる時に活用しようと思った。
- ・大きな地震が起こったときは、まず自分を守り、その次にできるだけ素早く他人を守りたいです。もし、AEDを持ってくるように頼まれたら、出来るだけ早く届けたいので、災害に備えて場所を覚えておきたいです。
- ・今回のこの機会に練習ができたことで、実際に災害が起きた時に自分が誰かの命を助けられると思うと、良いことを学べたなと思った。自助、共助、公助が大切だと思った。
- ・まずは、周りの安全を確認し、自分の命を守ること。AEDの使い方。1分間に100回から120回押すこと。手当の仕方、担架の作り方、初めてだったので勉強になった。しっかり覚えておきたい。
- ・心臓マッサージは一定のタイミングでしっかりと押すことが大事。また、消火訓練では水を出す瞬間、体が後ろに引っ張られる感じがした。担架は人がしっかり入る大きさを考えて作らなければいけないことがわかった。
- ・消火訓練の放水では、とても圧力があり驚いた。AEDは便利だと思った。胸骨圧迫は強くやっても意外と大丈夫だということが分かった。
- ・自助、共助、公助の三角形をしっかり覚えて、家族に教えたりして、活かしていきたいです。「防災宿泊体験」だけど、最近の言い方では「減災」というので、災害を減らしていくための「減災宿泊体験」だと思っていきたいです。火事が起きたら自分も活躍できるようにしたいです。

消火訓練

